

令和7年度 第1回 東海村子ども・子育て会議 議事録

会議名等	令和7年度 第1回 東海村子ども・子育て会議
日時	令和7年8月25日(月) 10:00~11:20
場所	東海村 中丸コミュニティセンター
出席委員	鈴木 みなみ, 佐藤 晶子, 諏訪 健一郎, 大森 奈穂美, 高橋 登志子, 鈴木 淳子, 鹿志村 茂, 諏訪 湖弓, 千葉 香, 鈴木 香代, 中村 宏, 近藤 壽子, 境 洋子(副会長), 中川 輝夫, 片岡 千穂乃, 助川 公継(会長)(順不同・敬称略) 16名中16名出席
事務局	福祉部 白石部長 子育て支援課 高橋課長, 秋山課長補佐, 田寄課長補佐, 渡邊課長補佐, 浅野係長, 飯塚係長, 海東主任(記録者) 健康増進課 平野課長補佐, 中島係長
次第	1 開会 2 福祉部長挨拶 3 委員紹介 4 会長及び副会長の選出 5 会長挨拶 6 議事 (1) 幼児期の教育・保育の確保に関する状況について (2) 地域子ども・子育て支援事業の実績報告について (3) 東海 あゆみ保育園 認可定員及び利用定員の変更予定について 7 その他 8 閉会
	【事前配布資料】 ・会議次第 ・資料1(幼児期の教育・保育の確保に関する状況) ・資料2(地域子ども・子育て支援事業の実績報告) ・第三期東海村子ども・子育て支援事業計画書 【当日配布資料】 ・資料3(東海 あゆみ保育園 認可定員及び利用定員の変更予定について) ・乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について
議事内容等	
	1 開会 2 福祉部長挨拶 3 委員紹介 4 会長及び副会長の選出 会長に助川公継委員, 副会長に境洋子委員を選出

5 会長挨拶（助川会長）

6 議事（会長による議事進行の下、事務局が【資料1】～【資料3】により説明）

（1）幼児期の教育・保育の確保に関する状況について【資料1】

（2）地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について【資料2】

【委員】

資料1の入所ニーズにおける未入所児童とはどのような児童か。

【事務局】

資料1の未入所児童は、入所保留児童のことである。

【委員】

資料1 （2）0歳/3号認定（保育所等）について、計画上入所ニーズは年々減っているにも関わらず、令和9・10年度は定員が増えている。村としてどのように考えているのか。

【事務局】

定員については、村内の事業所からの聴き取り結果を基に作成した。今後は、中間改訂時に実績を見ながら公立・民間併せて見直しを検討したい。

【委員】

産後ケア事業の利用者負担はどうなっているのか。

【事務局】

施設ごとの利用料金の1割が自己負担。しかし、今年度から2,500円を上限に補助を行っているため、実質無料の方もいる。

（3）東海 あゆみ保育園 認可定員及び利用定員の変更予定について
（質疑等無し）

7 その他【乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について】

【委員】

令和8・9年度の1人当たりの月の利用時間が3時間である理由は。

【事務局】

基本的には月10時間利用できるが、令和8・9年度の2年間については経過措置として3時間での実施が認められていることから3時間の実施を予定している。

【委員】

総合支援システムの活用スケジュールは。

【事務局】

令和8年度の事業開始に合わせて活用予定。

【委員】

対象児童及び利用児童についてはどのように考えているのか。

【事務局】

第三期計画 P43 のとおり計画している。

【委員】

こども誰でも通園制度は高いニーズが見込まれると思うが、応募が殺到した場合の利用者の決め方は。

【事務局】

細かい運用方法については、まだ検討段階である。

【委員】

子育て支援センターとこども誰でも通園制度の違いは。民間で実施する場合の利用料金は。

【事務局】

子育て支援センターは親子で交流できる場を提供するものであるのに対して、こども誰でも通園制度は、こどもが家族以外の人と関わる機会を提供するものである。

利用料金については、施設ごとに設定していただく。

【委員】

事業実施に向けて職員の配置は行うのか。

【事務局】

今後、職員の配置を予定している。

【委員】

一時預かり事業との違いは。民間で実施する場合は、どういった手続きを行うのか。

【事務局】

対象となるこどもの年齢が異なるほか、こども誰でも通園制度では保護者の就労要件が不要で全ての子育て世帯が利用可能であること、こどもの成長のための制度である点で趣旨が異なる。

令和8年度は公立施設のみでの実施を予定しているが、令和9年度以降民間で実施する場合については、子ども・子育て会議にて意見聴取が必要となる。

8 閉会

以上